

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【公開番号】特開2007-334510(P2007-334510A)

【公開日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2007-050

【出願番号】特願2006-163827(P2006-163827)

【国際特許分類】

G 06 T 11/60 (2006.01)

H 04 N 1/387 (2006.01)

【F I】

G 06 T 11/60 100D

H 04 N 1/387

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月30日(2010.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ページ上にレイアウトするコンテンツのサイズに応じて当該コンテンツのサブテンプレートのレイアウトを変化させることが可能な自動レイアウトシステムにおいて、

前記ページ上に前記サブテンプレートを配置するための領域を設定する手段と、

前記ページ上に前記サブテンプレートを配置するための優先度を設定する手段と、

前記コンテンツにコンテンツ特性情報を設定する手段と、

前記優先度と前記コンテンツ特性情報とにしたがって前記サブテンプレートのレイアウトを決定する手段と

を備えることを特徴とする自動レイアウトシステム。

【請求項2】

前記コンテンツ特性情報は、前記コンテンツの特性を示すことを特徴とする請求項1記載の自動レイアウトシステム。

【請求項3】

前記優先度は、前記ページ内に設定された軸ごとに設定されることを特徴とする請求項1または2記載の自動レイアウトシステム。

【請求項4】

前記軸を中心とする所定の範囲を有効範囲とし、当該有効範囲内に前記サブテンプレートを配置することを特徴とする請求項3記載の自動レイアウトシステム。

【請求項5】

ページ内の各領域に前記サブテンプレートのフロー方向を設定する手段と、

前記フロー方向にしたがって前記サブテンプレートを配置する手段と

を更に備えることを特徴とする請求項1~4のいずれか1項に記載の自動レイアウトシステム。

【請求項6】

ページ内の各領域内に前記サブテンプレートの揃えを設定する手段と、

前記揃えにしたがって前記サブテンプレートを配置する手段と

を更に備えることを特徴とする請求項1~5のいずれか1項に記載の自動レイアウトシ

ステム。

【請求項 7】

前記サブテンプレートが複数のページにまたがった場合に再配置する領域を求める手段と、

前記再配置する領域に前記サブテンプレートを再配置する手段と

を更に備えることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の自動レイアウトシステム。

【請求項 8】

ページ上にレイアウトするコンテンツのサイズに応じて当該コンテンツのサブテンプレートのレイアウトを変化させることが可能な自動レイアウト装置が実行する自動レイアウト方法において、

領域設定手段が、前記ページ上に前記サブテンプレートを配置するための領域を設定する領域設定ステップと、

優先度設定手段が、前記ページ上に前記サブテンプレートを配置するための優先度を設定する優先度設定ステップと、

コンテンツ特性情報設定手段が、前記コンテンツにコンテンツ特性情報を設定するコンテンツ特性情報設定ステップと、

決定手段が、前記優先度と前記コンテンツ特性情報とに基づき、前記サブテンプレートのレイアウトを決定する決定ステップと

を含むことを特徴とする自動レイアウト方法。

【請求項 9】

ページ上にレイアウトするコンテンツのサイズに応じて当該コンテンツのサブテンプレートのレイアウトを変化させることができコンピュータに、

前記ページ上に前記サブテンプレートを配置するための領域を設定する手順と、

前記ページ上に前記サブテンプレートを配置するための優先度を設定する手順と、

前記コンテンツにコンテンツ特性情報を設定する手順と、

前記優先度と前記コンテンツ特性情報とに基づき、前記サブテンプレートのレイアウトを決定する手順と

を実行させるためのプログラム。

【請求項 10】

ページ上にコンテンツをレイアウトする領域を設定し、当該レイアウト領域内の複数の領域それぞれに優先度を設定する設定手段と、

前記コンテンツの優先度と、前記設定手段によって設定された各領域の優先度にしたがって、前記コンテンツをレイアウトする処理手段と

を有することを特徴とする装置。

【請求項 11】

自動レイアウト装置が実行する自動レイアウト方法において、

優先度設定手段が、ページ上にコンテンツをレイアウトする領域を設定し、当該レイアウト領域内の複数の領域それぞれに優先度を設定する設定ステップと、

レイアウト手段が、前記コンテンツの優先度と、前記設定された各領域の優先度にしたがって、前記コンテンツをレイアウトするレイアウトステップと

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 12】

コンピュータに、

ページ上にコンテンツをレイアウトする領域を設定し、当該レイアウト領域内の複数の領域それぞれに優先度を設定するステップと、

前記コンテンツの優先度と、前記設定された各領域の優先度にしたがって、前記コンテンツをレイアウトするステップと

を実行することを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の自動レイアウトシステムは、ページ上にレイアウトするコンテンツのサイズに応じて当該コンテンツのサブテンプレートのレイアウトを変化させることが可能な自動レイアウトシステムにおいて、前記ページ上に前記サブテンプレートを配置するための領域を設定する手段と、前記ページ上に前記サブテンプレートを配置するための優先度を設定する手段と、前記コンテンツにコンテンツ特性情報を設定する手段と、前記優先度と前記コンテンツ特性情報とにしたがって前記サブテンプレートのレイアウトを決定する手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明の自動レイアウト方法は、ページ上にレイアウトするコンテンツのサイズに応じて当該コンテンツのサブテンプレートのレイアウトを変化させることが可能な自動レイアウト装置が実行する自動レイアウト方法において、領域設定手段が、前記ページ上に前記サブテンプレートを配置するための領域を設定する領域設定ステップと、優先度設定手段が、前記ページ上に前記サブテンプレートを配置するための優先度を設定する優先度設定ステップと、コンテンツ特性情報設定手段が、前記コンテンツにコンテンツ特性情報を設定するコンテンツ特性情報設定ステップと、決定手段が、前記優先度と前記コンテンツ特性情報に基づき、前記サブテンプレートのレイアウトを決定する決定ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明のプログラムは、ページ上にレイアウトするコンテンツのサイズに応じて当該コンテンツのサブテンプレートのレイアウトを変化させることが可能なコンピュータに、前記ページ上に前記サブテンプレートを配置するための領域を設定する手順と、前記ページ上に前記サブテンプレートを配置するための優先度を設定する手順と、前記コンテンツにコンテンツ特性情報を設定する手順と、前記優先度と前記コンテンツ特性情報に基づき、前記サブテンプレートのレイアウトを決定する手順とを実行させることを特徴とする。